

知っておけばよかった間違いだらけのゼネコン選び3つのポイント

さあ、皆様ははるばる日本からバングラデシュにやってきてご苦労の末、ようやくとある土地を購入しました。これから自慢できるような建物を建てたいと思っています。さて建設会社はどう選びますか…？

まずは当地で陥りやすいケースをご紹介します。

(ケース)

皆様のパートナーとなる現地企業の伝手などで地元建設会社の紹介を受け、見積を取得し、予算内であったのでその建設会社に発注をしました。

ところが工事の進捗が芳しくなく、果たして開業に間に合わないのでは…と心配。

作業員はヘルメットをかぶってないし、足は草履、作業着は…私服？？

安全意識が低く、いつ事故が起きてもおかしくはない。

現場はゴミだらけ、とにかく汚い。そもそも初めから整理整頓しないといけないという意識がないようだ。

それにしても、当初はスケジュールどおりにできると言っていたのに守られていないぞ。契約どおりの進捗に達していないので、支払いを一度ストップしよう。

なに！！スケジュール遅延はこちらのせい！？色々理由を並べ立てはじめたぞ…しかも支払いがないと工事を止めると言ってきた。もうこちらが折れて支払いをするしかないのか(泣)

だめだ、このままでは全然間に合わない。追加で費用が発生しても仕方がないので別の建設会社からも人員を投入しよう。建設会社が頼りないから他の専門家やコンサルも入れよう(汗)

…とやっところさ建物ができました。

しかし新築なのになんか薄汚い感じ。壁もいきなり傷んでいるなあ。既に他人に使われて一定期間経過したあとの状態のようだ。

色々不具合があるから、瑕疵担保期間中にしっかり対応してもらおう。

でも案の定、場当たりの対応で根本的な解決には至らないし、自分達の責任を認めず補修費用を請求してくるし困ったものだ。

まだ土地が空いているから将来的に拡張するつもりだったけど、今さらながら将来的な計画を見据えた提案が施工業者から全然なかったなあ…。

場当たりの対応の産物のような建物だから、また次の計画の時に困るだろうなあ(途方に暮れる)

いかがでしたか？

それでは上記のお話を踏まえて、気を付けたいポイント3点をご紹介します。